

2012年度 図書館実務担当者研修会 ワーキングB 活動概要

テーマ	パスファインダー作成のための「主題分析」と「情報資源の主題分析」		
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. パスファインダーとはいかなるものか、その目的と特徴を理解する。 2. その特徴を理解した上で、より良いパスファインダーを作成するために必要なパスファインダーのテーマ、すなわちパスファインダーが案内する主題について分析する方法を身につける。 3. 主題の分析結果に基づいて、パスファインダーに掲載する情報資源を分析する方法も身につける。 4. 事後課題で、所属機関の所蔵資料等を用いた、所属機関に適したパスファインダーを完成させる。 		
講師	鹿島 みづき 氏	所属	愛知淑徳大学図書館

事前活動	<ul style="list-style-type: none"> ●受講にあたって：課題図書『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践』(ISBN:4877382186) および『レファレンスサービスのための主題・主題分析・統制語彙』(ISBN:4585071253)の2冊を精読し、パスファインダーの目的と仕組みを理解しておく。 ●事前課題その1：課題図書を精読して、質問に回答する。 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館パスファインダー作成と図書館業務に共通する知的作業とは？ ・LCSHのモデル標目(Pattern Headings)とは、どのような標目でしょうか？ほか ※資料「パスファインダーのテーマ(トピック)候補の選び方について」配布 所属館の利用者ニーズを分析し、パスファインダーのテーマの候補を各自10点以上挙げる 参照文献：鹿島みづき「パスファインダー作成における主題分析の応用：教育と連携するために」 館灯.50.p33-38.(2011) ●事前課題その2：主題(トピック)の分析方法 <ol style="list-style-type: none"> A.主題の分析において切りだす要素について B.主題の分析に、統制語彙=LCSHを使用する C.パスファインダーのタイトルとスコープノートを作成する 最後に、A・B・Cの作業で得た情報をわかりやすくまとめ、それぞれの資料を作成する ●事前課題その3：掲載する情報資源の選択方法 辞典類・入門書・雑誌等の6種類の情報資源について、それぞれ2点ずつ選択すること 		
研修会当日	【報告】	事前活動報告と研修会当日のワーキング内容について口頭報告(島田委員)	
	【1日目】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講師作成のパワーポイント・配布資料による講義 <ol style="list-style-type: none"> (1)パスファインダーの目的、しくみ、構成の理解・確認 (2)選んだトピック(主題)についての理解 <ol style="list-style-type: none"> A. 主題によってその特徴も多様であることの理解 イ. 主題の広がり、包摂関係、側面などの把握 ウ. ファセットの切り出し方法 (3)各種情報資源の分析(方法の説明と実際) (4)パスファインダー上での記述(方法の説明と実際) 2. 意見交換 	
	【2日目】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前日に引き続き、講師による講義 2. 事前課題その2でまとめた資料を受講者ごとに配布 3. 持ち寄った情報資源を基に、受講者全員で「マーケティング」について、一つのパスファインダーを作成→報告用資料 4. 講師による総括、質疑応答 	
	【発表】	研修会当日のワーキング活動内容およびワーキングBとして作成したパスファインダーの紹介(報告者：中部大学附属三浦記念図書館 近藤氏)	
事後活動	<ul style="list-style-type: none"> ●「マーケティング」か「糖尿病」のどちらかを選び、所属館に適したパスファインダーを完成させる ●フォローアップと情報交換 		
そのほか (特記事項など)	<ul style="list-style-type: none"> ●受講者からパスファインダーのテーマ候補を挙げてもらい、最終的には講師と担当委員との協議のうえ、「マーケティング」と「糖尿病」に決定した。 ●事前課題その3で選択した情報資源を研修会当日持参すること。 		

担当委員※	島田 美津穂	所属	愛知大学豊橋図書館
担当委員	峯野 幸子	所属	東海学園大学三好キャンパス図書館
担当委員	保富 洋子	所属	豊田工業大学総合情報センター
担当委員	石田 信	所属	南山大学図書館

※ワーキング責任者